

山に行くときはつつが虫病に注意！

つつが虫病は、農作業や野外活動の際にダニの一種であるツツガムシに刺されることで発症する感染症です。野外活動の際は、ツツガムシに刺されないよう注意しましょう。

つつが虫病の症状



発疹

1~2cmまでの紅斑が汎発し、紫斑が混じることもあります。



刺し口

わきの下や服などで隠れた部分にある1~2cmの黒いかさぶたの付いた紅斑が特徴です。

(国立感染症研究所HPより)



タテツツガムシ (神奈川県衛生研究所 微生物部)

ツツガムシの種類や地域によって感染する時期が異なります。神奈川県を含む関東以西では晩秋から冬にかけて、東北・北陸地方では春と、秋から冬に患者の報告が多くみられます。神奈川県内では県西部で多く報告されています。

つつが虫病とは

原因	つつが虫病リケッチア (生きた細胞の中に寄生する病原体)
感染経路	つつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに刺されること
潜伏期間	約5~14日
症状	発熱、発疹、ツツガムシの刺し口の3つが特徴です。ツツガムシに刺されてから5~14日後に、38~40℃の高熱を生じ、さらに2、3日後に全身に紅斑が多発します。
治療	抗菌薬治療が有効です。治療が遅れて重症化すると肺炎や脳炎をおこすことがあるので、早期の診断・治療が重要です。

つつが虫病的対策

ツツガムシに刺されないことが大切！

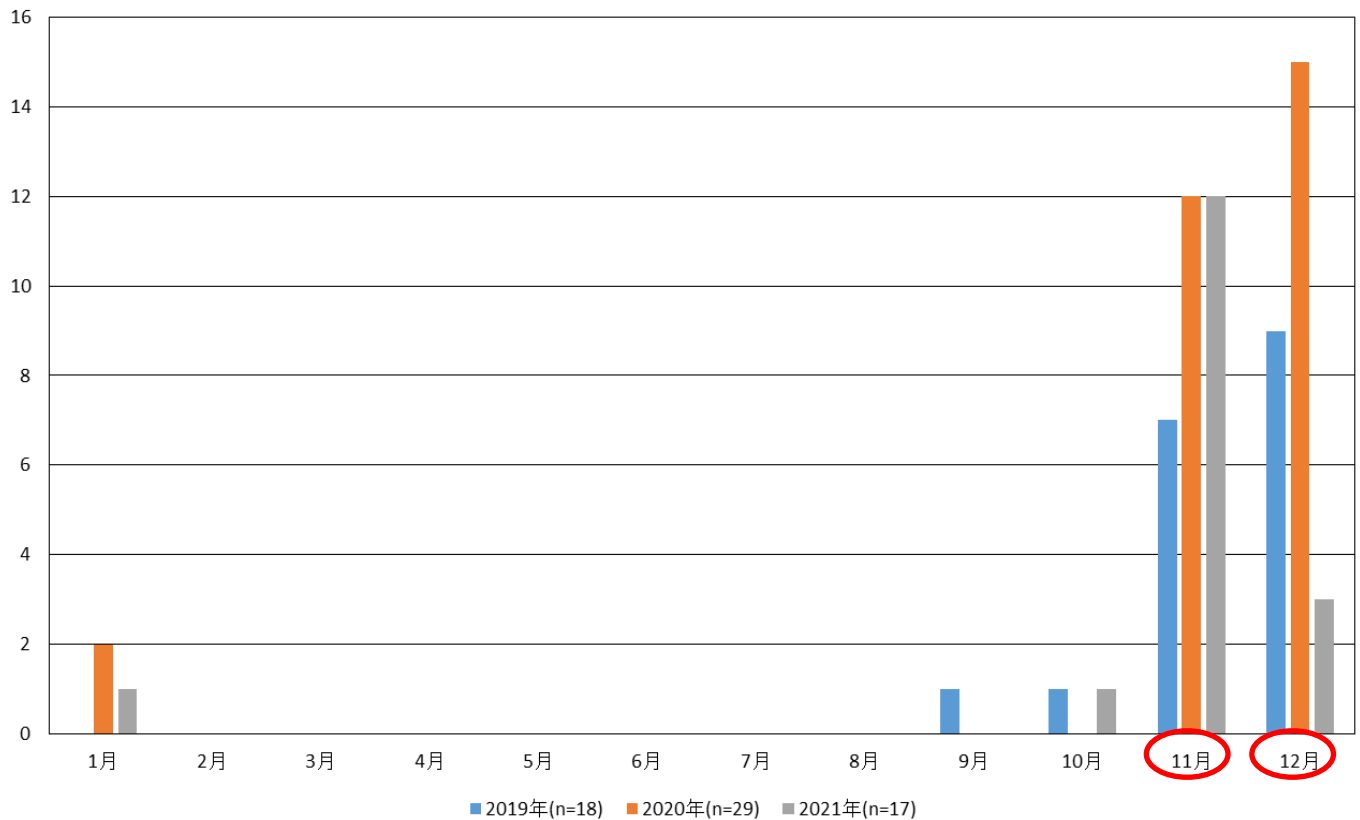
- 1.感染が流行する時期には山間部に立ち入らない。
- 2.山間部に立ち入る際には、皮膚を露出しない服装をして、虫除けをする。
- 3.地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりせず、レジャーシートを使う。
- 4.帰宅後に早めに脱衣を行い、速やかに入浴し、身体を洗い流して刺し口の有無を確認する。
- 5.ツツガムシに刺されていたら、自分でとらずに医療機関を受診する。

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
電話：0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>

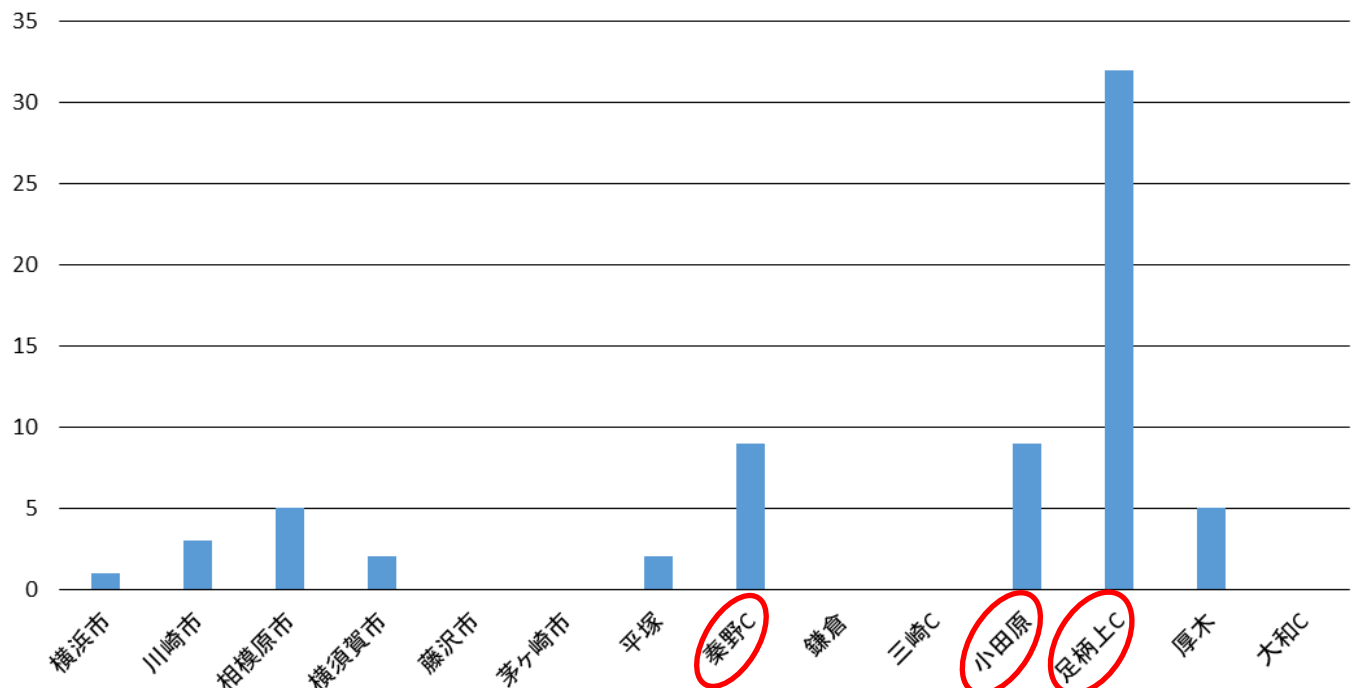
(令和4年9月作成)

神奈川県における発生状況

神奈川県における最近3年間のつつが虫病の報告数(2019年～2021年)



神奈川県におけるつつが虫病の地域別感染報告数
(2019年～2021年)



※C:センター

神奈川県衛生研究所 企画情報部 衛生情報課
 電話 : 0467-83-4400 FAX:0467-83-4457
<https://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken>